

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

基本事項

		整理番号	413
事業名	私立保育園離島運営費補助金	予算科目	会計 一般会計・1 款 民生費・3款 項 児童福祉費・2項 目 保育所費・4目
担当部課名	健康福祉部 福祉課		
電話	0799-44-3002		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市民間保育所運営費補助金交付要綱
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】	
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える	

Plan & Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市保育所の保育目標に同調し、家庭的な保育環境の中で、特に恵まれた自然環境を生かし、自然とのふれあいを大切にしたい保育の実施を目的とする。		
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 子ども達の1日の過ごし方について、園児年齢及び園児個々の状況に応じ、担当保育士並びに施設長が協議し、これを定める。		
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)		
	施設名称：	ぬしま保育園	構成員人数(人)	4
	住所：	南あわじ市沼島2484番地		
	職員：	園長1名、保育士2名、調理師1名		
	園児：	定員20人に3歳児3人 計3人		
事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体 <input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()		
補助金算出根拠	南あわじ市嘱託職員の人件費相当額 月額 152,800円×14ヶ月=2,139,200円(賞与2ヶ月分含む) 諸手当 11,000円×12ヶ月=132,000円(通勤費等) 社会保険料等 230,000円 合計(補助額) 2,500,000円			
補助交付期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から			

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	3,520	5,760	2,500	2,500	2,500
	私立保育園離島運営費補助金	3,520	5,760	2,500	2,500	2,500
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	3,520	5,760	2,500	2,500	2,500
	人件費(正規職員)[B] (千円)	837	846	822	804	804
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8
	事業量1(事業に要した日数)	30	30	30	30	30
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	4,357	6,606	3,322	3,304	3,304
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成22年度まで決算額。平成23年度～24年度は当初予算額。					

Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 運営補助金を交付したことにより、沼島地区の保育に欠ける乳幼児・幼児の保育にあたることができた。				自己評価 (5点評価)
					4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 沼島地区の乳幼児・幼児をもつ共働き夫婦などが、安全、安心して生活できるよう保育にあたる必要がある。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 沼島地区の乳幼児・幼児が、保育所で安全、安心して健やかに生活できることで、共働き夫婦が安定した生活基盤に寄与することができるよう、継続して保育にあたる必要がある。				<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>

Action & Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
今後の方向性とその理由	<p>近年の少子化及び成人の晩婚化が進んだことにより、こどもの出生数が激減し、保育する園児が減少し続けているため、保育所の管理運営に大きな影響を与えている。しかしながら、沼島地区は少人数ではあるが、乳幼児・幼児が、保育所で安全、安心して健やかに生活できるよう継続して保育にあたる必要がある。したがって、更なる保育所運営管理の中長期的計画を策定し、財源確保に検討する必要がある。</p>	<p>近年の少子化及び成人の晩婚化が進んだことでこどもの出生数が激減し、保育する園児が減少し続けているため、保育所の管理運営に大きな影響を与えている。沼島地区では、1～5歳児までが1桁人口となっており、乳幼児・幼児が、保育所で安全、安心して健やかに生活できるよう継続して保育にあたる必要がある。保育所の管理運営としては、かなり厳しいものとなっており、保育所の継続、統廃合について検討する必要がある。</p>
(現状維持以外の改善方法)	<p>保育所運営制度上、保育士は2名雇用となっているが、雇用するにあたっては、資金不足となっている。保育士人件費2名のうち、1名分は市補助金より、残り1名分は県保育協会から緊急雇用事業補助金を充当することで、経営安定化を図る計画を模索し、行動計画を今後計画する予定である。ただし、県保育協会から緊急雇用事業補助金は今年度のみとなっている。</p>	<p>保育所の継続、統廃合、廃止について、検討する必要がある。継続する場合は、多面的に他事業との併用による資金の確保が必要である。</p>
改善によって期待される効果	<p>資金不足となっている人件費を他事業と併用充当することで、財源の確保ができ、経営安定化を図ることができる。</p>	<p>他の保育所との統廃合又は他事業との併用資金等により、運営費の軽減が図られる。</p>
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>沼島地区の共働き夫婦などが生活基盤の安定のために、乳幼児・幼児を家に置いたままにするか、又は生活が安定するまで子どもの出生を遅らすなど地区の生活環境に大きな弊害をもたらす。</p> <p>しかしながら、保育所の管理運営費は多額な費用がかかるため、今後、近隣の保育所との統廃合に向けた協議又は他事業との併用運営が必要である。</p>	